

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	蘭越町
------	-----

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（3年計画のうち 2年目）

実施主体	市町村名：蘭越町 民間団体名：		計	1市町村 団体
プロジェクト名	蘭越町農業振興プロジェクト		格差の分野：地域経済の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	<input type="checkbox"/> 該当	◆地域重点プロジェクト名	◆主な取組	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	「食」の“しりべし”ブランド化の推進	○クリーン農業の推進など安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>◆ 地域の課題</p> <p>本町で生産される、らんこし米は、食味の良さから全道的に高い評価を得ているが、道内外における産地間競争が激化する一方、米価の低迷や資材価格の高騰など、農業経営環境はますます厳しくなっている。また、米の消費低迷による畑作物の転換も定着しているが、高品質な作物のブランド化と安定生産による所得確保が求められている。</p> <p>◆ プロジェクトの目標</p> <p>近年、食の安心安全が消費者の注目を集めている中で、クリーンな農産物の需要が高まっている。食味で高い評価を得ている「らんこし米」とともに、町の振興作物として定着し、所得確保に重要な位置付けとなっている「メロン」、「トマト」の品質向上とブランド確立に向けて行政と生産者、生産団体が一体となって取り組む。</p>			
取組の成果	<p>住民等の評価</p> <p>町農業振興プロジェクト会議の議論の中で、新たな振興作物の選定にかかる答申があり、準振興作物として、ピーマン・スイートコーンを町で指定した。</p>			
	<p>計画に対する達成度</p> <p>農業技術指導員の配置により、迅速・的確な、営農指導が実施できた。らんこし米のブランド確立のためのPR活動が実施できた。</p>		<p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</p>	
	<p>具体的な効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米需要量情報算定に係る市町村別ランク区分 4ランク ・主な振興作物販売額（21年度→22年度） <p>メロン 201,000千円→181,000千円(90%) トマト 109,000千円→157,000千円(144%)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・米需要量情報算定に係る市町村別ランク区分 4ランク ・主な振興作物販売額（23年度→22年度） <p>メロン 214,000千円→181,000千円(85%)、トマト 103,000千円→157,000千円(152%)</p>	
プロジェクト推進上の課題・問題点	<p>課題点等</p> <p>町内農家の経営構造を総合的に検討する蘭越町農業振興プロジェクト会議では、本町農業の現状分析を進めながら、農業方策を検討しており、「循環型農業」や「クリーン農業」の推進により、町内農産物に付加価値を付けていくことが重要であるという意見が出されている。</p>			
	<p>課題を踏まえた今後の展開</p> <p>本プロジェクトの推進に当たっては、町や町農業委員会、ようてい農業協同組合、町水稻生産組合等関係機関と連携を図り、農事組合長会議や、各種会議での周知及び資料等で各農家に理解と普及を進める。らんこし米の品質向上、畑作・園芸作物の技術指導やイエスクリーン等作物の作付け拡大等を目指して農業技術指導員による農家への技術指導を着実に進める。農業振興プロジェクトや専門的な知見を有する立場から意見・助言農作物の品質向上及びブランドの確立を達成するためには農業技術指導員は必要不可欠な人材である。</p>			

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	農業振興プロジェク ト会議設置事業 蘭越町	20) 23	全体計画	663					663			630
			初年度(21)	210				210			210	
			2年度目(22)	178				178			170	
			3年度目(23)	275				275			250	
2	農業技術指導員の配 置 蘭越町	21) 22	全体計画	18,813					18,813			11,290
			初年度(21)	6,645				6,645			6,640	
			2年度目(22)	6,071				6,071			4,650	
			3年度目(23)	6,097				6,097			0	
3	イエスクリーン米等 生産推進対策事業 蘭越町	20) 22	全体計画	312					312			60
			初年度(21)	207				207			40	
			2年度目(22)	105				105			20	
			3年度目(23)									
4	「らんこし米」新米 キャンペーン等PR事 業 蘭越町米麦改良協会(公)	12) 23	全体計画	3,157			3,000			157		3,000
			初年度(21)	1,496			1,400			96		1,400
			2年度目(22)	831			800			31		800
			3年度目(23)	830			800			30		800
5	施肥体系転換土壌分 析推進事業 JA ようてい土づくり協議会	21) 23	全体計画	4,590	806		1,904			1,880		780
			初年度(21)	1,726	806		460			460		0
			2年度目(22)	524			274			250		130
			3年度目(23)	2,340			1,170			1,170		650
6	農業用廃プラスチック 適正処理奨励事業 蘭越町	20) 22	全体計画	444					444			440
			初年度(21)	212					212			210
			2年度目(22)	232					232			230
			3年度目(23)									
計	事業数 [6]		全体計画	27,874	806		4,904		20,127	2,037		16,200
			初年度(21)	10,496	806		1,860		7,274	556		8,500
			2年度目(22)	7,836			1,074		6,481	281		6,000
			3年度目(23)	9,542			1,970		6,372	1,200		1,700

- 注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。
 2 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。
 3 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	農業振興プロジェクト会議設置事業	町の農業経営戦略の位置付けをするため、現状分析と将来を見据えたビジョンを策定する。	初年度(H21)	振興作物に対する検証と新たな振興作物の選定	ミトマト・ピーマン・スイートコーンを新たな振興作物とし、作付拡大を図る。	農業後継者・新規就農者の確保等の対策の検討。
			2年度目(H22)	町農業の現状分析と農業振興方策の検討	らんこし米の高付加価値米の増産方策	イエスクリーン米等の作付拡大
			3年度目()			
2	農業技術指導員の配置	らんこし米の品質向上、畑作・園芸作物の技術指導、イエスクリーン等作物の作付け拡大のため、町独自で技術指導員を確保することにより、町農業者の相談等に対し迅速な指導・アドバイスが可能となる。	初年度(H21)	農産物の生産技術指導等農業経営全般について普及指導を行う	迅速・的確な営農指導が実施できた。	普及センター等関係機関との連携強化。
			2年度目(H22)	農産物の生産技術指導等農業経営全般について普及指導を行う	迅速・的確な営農指導が実施できた。	普及センター等関係機関との連携強化。
			3年度目()			
3	イエスクリーン米等生産推進対策事業	食の安全・安心指向の高まりと、流通・販売面におけるクリーン農業の差別化に対応し、イエスクリーン米等に取り組む農業者に対して、温湯消毒機の購入経費の一部に助成。	初年度(H21)	温湯消毒機の導入に対し、費用の一部を助成(町内3戸)	イエスクリーン米作付面積の拡大が図られた。	導入台数の拡大を図る。
			2年度目(H22)	温湯消毒機の導入に対し、費用の一部を助成(町内2戸)	イエスクリーン米計画面積に対し、高温多湿の気象条件で、農薬散布回数が増加し実績面積が減少した。	町で増設する育苗施設で温湯消毒をH24年度より実施することにより、イエスクリーン米等の作付を拡大する。
			3年度目()			
4	「らんこし米」新米キャンペーン等PR事業	らんこし米のブランドの確立を図ると共に札幌圏の消費者にらんこし米の食味の良さをアピールしらんこし米の販路拡大を図る。	初年度(H21)	らんこし米化粧袋(1Kg用)を新たに導入	らんこし米のPRに活用された。	PR活動を通じて、消費者ニーズを探り、販売戦略の構築
			2年度目(H22)	らんこし米パンフレット等の増刷	らんこし米のPRに活用された。	PR活動を通じて、消費者ニーズを探り、販売戦略の構築
			3年度目()			
5	施肥体系転換土壌分析推進事業	化学肥料と堆肥コストを低減する施肥体系へ転換を推進するため、土壌診断による施肥設計見直しを推奨。	初年度(H21)	土壌診断経費の国費助成残の1/2を助成(940件)	土壌診断による施肥設計の見直しが図られた。	土壌診断による施肥設計見直しを推奨。
			2年度目(H22)	土壌診断経費の1/2を助成(291件)	土壌診断による施肥設計の見直しが図られた。	土壌診断による施肥設計見直しを推奨。
			3年度目()			
6	農業用廃プラスチック適正処理奨励事業	循環型農業の推進のため、農業用廃プラスチックの回収リサイクル事業への引渡し等適正な処理を奨励するため経費の一部を助成。	初年度(H21)	処理費用の1/6を農家にに対して助成(96戸)	廃プラスチックの適正処理が図られた。	廃プラスチックの適正処理を推進。
			2年度目(H22)	処理費用の1/6を農家にに対して助成(114戸)	廃プラスチックの適正処理が図られた。	廃プラスチックの適正処理を推進。
			3年度目()			

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。

蘭越町農業振興プロジェクト

(蘭越町)

【格差の分野：地域経済の格差】

【支援期間：H21～H23】

地域のめざす姿

地域の振興作物について、品質向上によるブランドの確立と安定生産に向け、行政と生産者、生産団体などが関係者が一体となった取組を進めることにより、農業者の所得確保を図る。



第1回会議で町長より委嘱状交付（農業振興プロジェクト会議）



農業振興プロジェクト会議の開催風景



町内の作況調査（農業技術指導員）



JR札幌駅での新米イベント

地域協働の取組

プロジェクトの主な取組

- ・ 農業振興プロジェクト会議の設置し、本町農業の現状分析を行い、「農業振興方策」を検討する。
- ・ 農業技術指導員の配置による「らんこし米」の品質向上とクリーン農業の促進
- ・ 札幌圏への販路拡大に向けた「らんこし米」のPR活動
- ・ 循環型農業推進のための農業用廃品リサイクル処理に対する支援



取組の主な成果

- 農業振興プロジェクト会議での協議により、H22年度よりミニトマト、ピーマン、スイートコーン等が新たな振興作物として選定された。
- 農業技術指導員を配置し、JA・普及センター等の関係連携により、迅速・的確な営農技術の推進を図ることができた。
- 「らんこし米」新米キャンペーンの開催により「らんこし米」の好感度が向上し、販路拡大の足がかりができた。

地域再生プロジェクトの推進上の課題等について

市町村名	蘭越町	プロジェクト名	蘭越町農業振興プロジェクト	採択年度	平成21年度
------	-----	---------	---------------	------	--------

1. 「地域再生プロジェクトの効果・成果」について

項目	成果目標値	達成状況 [平成22年9月現在]
米需要量情報算定に係る市町村別ランキング区分	平成21年度 4 ランク →平成23年度 5 ランク	平成22年度 5 ランク
主な振興作物販売額	メロン210,000千円 (H20年度→214,000千円 (H23年度)) トマト98,000千円 (H20年度) →103,000千円 (H23年度)	メロン201,444千円 トマト108,959千円 (平成21年度)
一人当たり課税所得	2,675.9千円 (H19年) →2,800千円 (H23年度)	2,655.3千円 (平成21年)

2. 「プロジェクト推進にあたっての課題・問題点等」について

交付対象事業 (実施主体名・区分)	実施 期間	H22交付 金内示額 (千円)	事業実施にあたっての課題・問題点等
蘭越町農業振興プロジェクト外	H21 ～ H23	6,000	
農業振興プロジェクト会議設置事業 (蘭越町・公)	H21 ～ H23	250	振興作物に対する検証により、平成22年度よりピーマン・スイートコーンの準振興作物の選定等、本町農業振興について提言をしてきたが、今後は、農業所得確保対策、農業後継者等担い手の確保対策、水稻の振興方策等について協議検討を行っていく。会議の概要は、町HPに公表し、会議に対する町民の関心を喚起し、意見を募っている。
農業技術指導員の配置 (蘭越町・公)	H21 ～ H22	4,010	普及センター・JA等関係機関との連携を強化し、迅速・的確な営農指導の推進を図っていく。全体として、課題は特にない。(異常気象下での、春先の低温・いもち病・カメムシの防除対策・適期刈り取りによる品質向上等の営農技術活動の実施。個別指導・文書・ファックス、町オフトーク放送等を活用して実施している。)
イエスクリーン米等生産推進対策事業 (蘭越町・公)	H21 ～ H22	100	イエスクリーン米(北海道の基準)と特別栽培米(国の基準)の作付推進を図っていく。平成24年度から稼働を開始予定の町育苗施設での温湯消毒実施により、更なる作付推進を図ることとしている。
「らんこし米」新米キャンペーン等PR事業 (蘭越町米麦改良協会・公、住)	H21 ～ H23	800	新米キャンペーン・らんこし米TVCM・SLニセコ号等でのPR活動により、らんこし米の好感度が増加し、テレビや新聞等に取り上げられ、「らんこし米」の知名度が向上し、農家直販等での販路拡大につながっていると考えるが、今後更なる販路拡大が課題となっている。 (低タンパク米、イエスクリーン米、特別栽培米等高付加価値米生産の増産により更なる販路拡大を目指す)
施肥体系転換土壌分析推進事業 (JAようてい土づくり協議会・住)	H21 ～ H23	600	土壌診断による施肥設計見直しにより、経営コストの削減を推進していく。肥料価格高騰による農家経営に及ぼす景況が懸念されている。(町独自の農家経営安定対策として、肥料価格高騰に対する一部助成事業を平成21年・22年度の2年間実施している。)
農業用廃プラスチック適正処理奨励事業	H21 ～ H22	240	この事業により、今後、使用者の自主的な廃プラスチックの適正処理を推進していく。

(蘭越町・公)			
---------	--	--	--

※ 交付対象事業数に応じて、欄を増減してください。なお、「事業実施に当たっての課題・問題点等」は、個別事業ごとではなく、プロジェクト全体について記載していただいても結構です。

3. 「支援期間終了後の事業継続の方向性」について

民間団体等との協働による取組にあつては、町と関係者との応分の負担により財源を確保する必要があると考えており、受益者の自主的な活動や他補助金等の活用等といった方法なども含め、自己財源における来年度以降の事業継続のあり方について検討を進めている。

4. 「その他、プロジェクト全般を通じた質問・意見等」について

蘭越町農業振興プロジェクト外も2年間を経過しようとしているが、本町の主幹産業である農業振興を図り、農家所得の向上につながるような取り組みになることが重要であると考えます。